

二八六四番

我が背子を 今か今かと 待ち居るに 夜のふけ  
ぬれば 嘆きつるかも

二八六五番

玉釧 まき寝る妹も あらばこそ 夜の長けく  
も 嬉しかるべき

二八六六番

人妻に 言ふは誰がこと さ衣の この紐解けと  
言ふは誰がこと